

1 主題構成表

主題名 働く楽しさ

資料名 のぶくんはポスター係（出典：文溪堂）

■内容項目 C - (1 4) 勤労・公共の精神 (低)働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。 (中)働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。	■内容項目から見た児童の実態 (意識) ・自分の係や日直などの役割を、毎日忘れずにやることはできている。 ・時折、役割に対し、「面倒だな」と口にし、役割をやろうとしないことがある。 ■要因 ・自分自身の役割について、何をすべきなのか、どのようなことをするのは理解することはできている。しかし、それぞれの役割が、みんなのためになっていることについては意識が低く、働くことのよさについては考えることができていない。	■資料の分析 ・本資料は、ポスター係になったのぶくんが、始めは意欲的にポスターを作っていたが、時が経つにつれて作をやめてしまう。しかし、クラスメイトのまさとくんが「のぶくんのポスター楽しみにしているんだけれどなあ」と言ったことを聞き、自分の役割がみんなを楽しませていたことに気付き、再びポスターを作り始めるという内容である。児童は、自分の係活動と重ね合わせ、のぶくんの心情を考えることができる。 ・ポスター係に決まってからその役割を果たしていく姿や、途中でポスター作りをやめてしまうのぶくんの心情に共感することができる。 ・みんなが喜んでいる姿を見て、係活動のよさに気付いたのぶくんが、みんなのために係の役割を果たそうとしている姿から、働くことのよさに気付くことができる。			
■ねらい 自分の仕事や役割がみんなのためになっていることに気付き、進んで係の活動などの役割を果たそうとする心情を育てる。					
■他の教育活動との関連 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="177 1742 635 1921"> ■事前 学級活動 係を決め、自分の役割を理解することはできたが、「みんなのために」という意識は低い。 </td><td data-bbox="695 1742 874 1921"> ■本時 のぶくんはポスター係 </td><td data-bbox="943 1742 1401 1921"> ■事後 学級活動 今後の係活動や2学期以降他の係に変わっても、「みんなのために」という考えは変わらないことを伝える。 </td></tr> </table>			■事前 学級活動 係を決め、自分の役割を理解することはできたが、「みんなのために」という意識は低い。	■本時 のぶくんはポスター係	■事後 学級活動 今後の係活動や2学期以降他の係に変わっても、「みんなのために」という考えは変わらないことを伝える。
■事前 学級活動 係を決め、自分の役割を理解することはできたが、「みんなのために」という意識は低い。	■本時 のぶくんはポスター係	■事後 学級活動 今後の係活動や2学期以降他の係に変わっても、「みんなのために」という考えは変わらないことを伝える。			
■「私たちの道徳」の活用（授業前・<u>授業中</u>・授業後・活用しない） （活用の仕方）「はたらくことのよさをかんじて」（P132）の「わたしのしごと」を読み、自分達との生活と重ね合わせ、同じ様な経験がないかを考える。					

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	○自分自身の係について確認する。 ・本係・ポスト係・音楽係・花係 - 主人公について説明を聞く。 ・主人公はポスター係になった。 ・のぶくんの気持ちを考えてみよう。	・自分の係の役割を具体的に想起させるために仕事をしている写真を提示して確認する。 ・主人公は「のぶくん」であることをおさえる。係の仕事を一生懸命やろうとする姿をおさえる。
展開前段	「のぶくんはポスター係」の絵話を聞き、話し合う。 ○感想を発表しましょう。 ・ポスター係をやろうと思ったことがすごいと思った。 ・一生懸命に係の仕事をするのぶくんはいいなと思った。 ○ポスター係になった時ののぶくんの気持ちを考えよう。 ・誰もやらないから自分がやろう。 ・どんなポスターを書こうかな。 ○何度か掲示板に貼ってもらっていた頃ののぶくんの気持ちを考えよう。 ・みんなに読んでもらおうと思っている。 ・みんなが楽しめるポスターについて一生懸命考えている。 ○のぶくんがポスターを描かなくなってしまった時の気持ちを考えよう。 ・だれも見えてくれないから、もう描かなくてもいいや。 ・だれも誉めてくれないから、やる気をなくしてしまった。 ・面倒になってやめてしまった。 友達から「新しい虫のポスター楽しみにしているんだけどな」と言われたとき、のぶくんはどのように思ったのか考えよう。 ・自分のポスターを楽しみにしている人がいることに気がついた。 ・ポスターを待っている人がいるなら、もっと頑張ってポスターを書かないと。 深めの発問 ポスターを待っているのは、まさとくんだけなのだろうか。 ・まさとくんだけではないかもしれない。 ・まさとくんだけでなく、クラスみんなも見えてくれている。 ○ポスターを見てよこんでいる友達を見てどんな気持ちになったでしょう。 ・みんな喜んでくれて、がんばったかいがあった。 ・これからみんなのために頑張ろう。	・場面の様子をとらえやすいように、場面絵を提示する。 ・自分の体験と結びつけて、始めの「頑張ろう」と思っていたのぶくんに共感させる。 のぶくんが途中からポスターを書かなくなってしまっていることに気付けるように言葉で援助する。 ・言葉でうまく表現できない児童には、表情などから気持ちを確かめる。 自分の仕事がみんなの為になっていることのよさに気付かせる。(認識力) ・自分の仕事がみんなの喜びに繋がるだけでなく、自分自身の達成感や自己肯定感に繋がることに気付かせる。
展開後段	自分の係の仕事について振り返る。 ○面倒に思って自分の役割をしなくなってしまったらどうなるだろう。 ・クラスのみんなが困ってしまう。 ・自分の勝手な気持ちでみんなに迷惑がかかってしまう。 ○役割があるのは学校だけだろうか。 ・家でもお手伝いをしたりする。	・自分の係の役割について振り返り、その重要さについて考えることができるようにする。 ・普段の仕事を忘れずにしている姿を紹介し、その頑張りを認める。 家での役割に繋げる。児童から出ない場合は教師から出す。
終末	教師の説話を聞く。 ○これからどうしていきたいか考える。 ・自分の係の仕事は、みんなの為になることだから、今よりも頑張って、係の役割を果たしていきたい。	・教師から普段の児童の様子を手紙で認める場を作る。 ・日常生活で気付いている児童どうしのかかわりのよさを話す。